

# 一般質問

**白馬 康進 議員**

○ 役場庁舎の建設について

**村田 政義 議員**

○ 自主防災組織結成に向けた基本的姿勢について



議員

町長

役場庁舎建設の今後の  
進め方について

今後皆さんと意見交換を  
しながら進めたい

白馬議員

平成26年町長3期目の公約の一つに、「老朽化したインフラの再整備」を掲げ、中心市街地活性化の一環として、複合施設の建設を任期中に行えるよう筑波大学とまちなか再生事業と連動させ取り進めていくとあるが、庁舎建設の理由と、複合施設の考え方、進め方について伺いたい。

町長

役場庁舎は、築57年経過し老朽化が進んでいます。行政運営の中枢基地、災害時の対策本部となる施設であり、当初は改修工事を考えていましたが、耐震調査の結果、建て替えを行う方が現実的だと考えました。建て替えを行う際は、さまざまな複合的な施設が考えられるので、今後は各ゾーンの役割など総合的な見地から検討し、今年度内に大まかな青写真を提案し、議会や町民の皆さんとの意見交換

を進めていきたい。

白馬議員

事業を進めるうえでは、町民の声をきき理解を得ることが、大事で必要ではないか。

町長

一定の青写真ができたなら、まちづくり懇談会やシンポジウムのような



形で、意見交換会をして町民の皆さんの声を多く聞いていきたい。

白馬議員

先に複合施設ありきではなく、事前に町民にとって将来的に利用しやすく、望ましい庁舎を検討するべきではないか。

町長

町全体の人口減少や高齢化を含め、大きさや位置などが決まっていきたいと思います。



議員

町長

自主防災組織結成に向けた  
基本的姿勢について

災害時は住民の自助、共助が必要

村田議員

地域における防災組織の立ち上げを行政としての考えに基づいて、各自治会に促しています。今日までの取り組みの中で自治会との間に温度差がある。防災組織に対する基本的な位置づけ・進め方について伺います。

町長

災害時には公的機関の救助・救援活動には限界があることから、自分の身は自分で守る、自主的な防災組織での共助が必要と考えていることから、立ち上げを呼びかけています。

村田議員

津別モデル8項目だけでは、組織が機能するか不安との声も多く、そのことから①組織の役員体制と任務②避難困難者を含む住民名簿③防災整備・備品購入な



どの意思統一を行うことが、充実した防災組織へつながっていくことと考えるが。

町長

平成25年に災害対策基本法が改正され、それに基づき津別モデル8項目を作成し進めています。まちづくり懇談会でもそういった話もされており、工夫をしながら共に進めていきたい。

村田議員

「避難困難者」の名簿化について、町は年度中に作成し、自治会に下ろすとしていたが、その進捗状況について伺います。

町長

名簿化はまもなく完成する予定で、自主防災組織ができる自治会と話し合いをしながら提供していくが、もう少し時間をいただきたい。

# 一般質問

## 山内 彬 議員

- 庁舎等建設計画について
- 多目的活動センターについて



議員

庁舎等建設計画をどう進めるのか

町長

任期中に目途がつけよような方向で

山内議員

町政方針において、今年から庁舎を含む複合施設の建設計画づくりを進めるとしていますが、この重要な問題を町民の信頼をどう得ながら進めていくのか。

町長

町民の皆さんに伝えていくために意見交換を行いながら、本計画づくりを進めていきたいと考えています。

山内議員

町民への説明はいつごろになるのか。

町長

任期中に目途がつけよような方向で検討し、11月頃町民向けのシンポジウムを考えています。

山内議員

事前に自治会長会議などを通じ、町民と情報を共有する

ことが必要ではないか。

町長

広報の中で、議論とか検討されていることを随時報告していきたい。

山内議員

建設予定地や事業費を考えた青写真をつくっていくのか。

町長

建設場所や複合施設の機能については、一つに絞り込めるか未定ですが、できるだけ検討を進めていただけるよう期待しています。

山内議員

複合施設計画として、農協や北見信金から正式な要望が出されているのか。

町長

口頭での要望となつています。

議員

さんさん館の施設管理を  
観光協会に委託しては

町長

管理委託を進めよう

山内議員

さんさん館は6年目を迎えますが、満足度調査では満足していない意見もある。施設と町民との距離を縮める努力をすべきではないか。

町長

満足度調査では半数の方が満足していると回答しています。今後も利用しやすい、入りやすい取り組みや雰囲気づくりを続けたい。

山内議員

町長は相当期待して建設されたと思いますが、町民としては受け入れがたいものがあるのではないか。

黒い壁についても最初から批判されていたのも要因ではないか。

町長

交流の場としての役割は大きいと評価されており、そういうものをもっとと理解



さんさん館事務局

してほしい。

黒い壁の建物は農林水産大臣賞の最高位をいただき町としての誇りをもってアピールしていきたい。

山内議員

観光協会に施設の管理運営を委託し、民間レベルで管理したほうが施設は生かされるのではないか。

町長

管理については、全く同じ考えをもっています。センターの運営協議会は、センターを町民みんなと一緒に利用するための組織であり、基本的な施設管理からは切り離したいと考えています。

# 一般質問

## 篠原 眞稚子 議員

- 教育行政について
- 地方創生アイデアコンペについて



議員

地域社会と学校が協働して  
取り組む内容は

教育長

具体的な答申が出されてから

篠原議員

中央教育審議会の答申によると、新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携、協働のあり方、今後の推進策は「厳しい教育環境の中、子どもを軸として次代を担う子どもたちの成長に向けての目標を共有し、地域社会と学校が協働して取り組むことが必要」とされています。今後の取り組みについて伺います。

教育長

中央教育審議会の答申は12月にでたばかりで、具体的な施策はこれからです。

ただ学校と家庭、地域社会との連携強化は、今日的な課題として、本町もこれまでさまざまな取り組みをしているところではあります。

篠原議員

子育てで悩んでいる、不安を持っているなど満足度調査

に記載されていることから、コミュニケーション能力を高めるためのプログラムである「親業講座」を社会教育や生涯学習の面から検討できないか伺います。

教育長

親業は、子どもを自立させるために親が親としての役割を効果的に果たしていくためのものと理解しています。

親業プログラムを新たに実施するかどうかは、任期の関係上、回答を控えさせていただきます。

今年度は、産後ケア推進事業や父親のための子育て講座の開催、さらに保護者からの相談を待つだけでなく、訪問型の相談業務や情報提供なども計画しています。



議員

まちづくりアイデアコンペ  
ポスターの印象は

町長

注目されるキャッチ  
「コピーにした

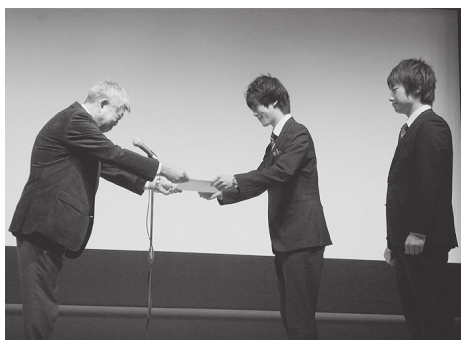
篠原議員

地方再生は、東京一極集中でなく、田舎もそれなりに魅力を発揮し、移住してもらい人口減を食い止める事業と理解しています。

そこで3月5日に行われたまちづくりアイデアコンペについて、インパクトの強かったポスターの印象についてどう思いますか。

町長

できるだけ多くの方々の注目を集める必要があると思います。賞金を多めにし、若者が中心



まちづくりアイデアコンペ受賞式の様子

となつて注目されるキャッチコピーを作成したところで、賛否両論があったことは承知しています。

篠原議員

当日の参加について、担当者として一部の人だけが頑張っているように感じたが、どう認識していますか。

町長

広報3月号や報道機関、かわら版、町のホームページとフェイスブックで呼びかけました。また、職員に対しては庁議やメールなどです。当日は関係者を含めて約100人が参加しました。多くの職員と町民の参加を期待したところですが、土曜の行事、あるいは家庭の事情があったものも推測しています。



北海道津別町  
この町は、しんどう。



# 一般質問

## 茂呂竹 裕子 議員

- 就学援助制度の改善について
- 「安心出産支援事業費」について



議員

就学援助制度を改善できないか

教育長

先例を調査し検討  
おのづから引き継ぎたい

茂呂竹議員

この制度については、平成26年9月議会にて、中学に進学する際に制服や指定ジャージなどに多額の費用がかかることから、新入学用品費を入学前に支給すべきではないかと東京都板橋区や青森市の例を挙げ質問しました。今回新潟県市が小学6年の3月に入学準備金として支給していることが分かりました。保護者にとつて、必要な時の援助が喜ばれるものではありませんか。

教育長

前回、前年の所得額を算定根拠にしているもので、5月以降の支給にならざるを得ないと答えました。

対応している市が、直近の経済状況を確認する別の方法があるのか調査し、どのような対応が制度の趣旨に沿った支援策になるのかの検討を4月以降の新体制に引き継ぎたいと考えます。

茂呂竹議員

新潟県の担当者に聞くと、「現行制度のまま制度を利用してしている6年生の家庭に3月初めに準備金として支給した」とのことでした。

教育長

就学援助は市町村独自の基準なので、津別の基準ではできませんが、先例もあるので調査させていただきたいと考えます。

茂呂竹議員

修学旅行準備金や卒業アルバム、眼鏡、コンタクトレンズなどを支給対象にしている自治体もあり、制度を充実する考えはありませんか。

教育長

修学旅行準備金や卒業記念品については、検討の余地があるかと思うので、引き継ぎたいと思います。

議員

道の「安心出産支援事業」の  
対応と活用について

町長

制度化に向け助成基準を検討したい

茂呂竹議員

道の新年度予算に計上された「安心出産支援事業費」は、妊婦健診、出産時の交通費、宿泊費を助成する事業だと聞くが、当町ではどんな対応になるのか伺います。

町長

道が、28年度から子ども子育て関連事業として実施する「妊産婦安心出産支援事業」は、分娩可能な産科医療機関までの距離が遠く、妊産婦の心身や経済的負担が大きいことから交通費を支援し、安心して子どもを産める環境作りを目的としています。津別町は、「分娩可能な医療機関がある市町村から25kmを超える市町村」に該当し、



茂呂竹議員

道議会では7年も要求した結果の制度化なので町も制度化にむけ、妊婦さんの身につけての支援をお願いします。

町長

1月に管内町村会で、会長から「日赤の院長から、北見での出産に宿泊費の助成を検討いただけませんか、という話があった」と報告を受けています。管内では遠軽町が独自で宿泊費の助成を行っているそうです。宿泊費は50kmを超える場合とさせていただきますので、検討させていただきます。

# 一般質問

## 佐藤 久哉 議員

- 公共施設整備と中心街区の形成について
- 認証材や木材加工技術のPRについて



議員

公共施設や中心街の整備を  
どう進めていくのか

町長  
グラントデザインを検討し  
ハード面の協議を進めたい

佐藤議員

中心街の整備を進めていく上で、「公共施設等総合管理計画」と「アセットマネジメントシステムモデル事業」は、どのような関係になるのですか。

町長

「公共施設等総合管理計画」は、財政的な視点での策定であり、「アセットマネジメントシステムモデル事業」は、建設分野における専門的な視点からの管理方法を構築しようとするもので、どちらも将来の公共施設などの管理運営について考える点では、同じという相関関係を持っていません。

佐藤議員

まちなか再生事業は、28年

グラントデザインとは

注「ここでは、中心街の総合的デザインのことを意味します」

どう進めていくのか

度にどのようなことを行うのでしょうか。

町長

事業遂行のためのグラントデザインを検討し、ハード面の具体的な協議を進めていきます。

佐藤議員

各担当の方から、たたき台となるデータは用意するのですか。

町長

用意しなければ、議論がふわふわしたものになってしまふと思っております。

佐藤議員

時間が足りないと思うが間に合うのですか。

町長

今まで議論してきたものを整理統合して示していきたい。

佐藤議員

中心街の青写真の中で、複合施設を複数ということは考えられないのでしょうか。

町長

私の段階では、複合施設を複数持つという考えは今のところありませんが、検討の中で出てくるかもしれません。

議員

認証材を使った  
モデルハウスを  
作ってはどうか

町長

オール津別に  
よる認証住宅  
を検討したい

佐藤議員

認証材による地域ブランド化を目指すということであれば、認証材を利用したモデルハウスをつくり、町内外へのPRを考えてはどうですか。

町長

林産業におけるCO2認証の環境は、整いつつあります。建設関係がCO2認証を取得しますと、森林から住宅まで



恩根の町有林間伐材集積場

の認証がすべてつながり、オール津別による認証住宅や公共施設などの建築が、可能となるものと思っています。

佐藤議員

国や道の補助金を上手に活用して、お試し住宅やアンテナショップをつくれないうかが。

町長

認証住宅の建設は、認証材を利用拡大に大きく貢献するというふうには思っています。議員が言われるようなモデルハウスなどを建設してPRすることは、大変効果的かと思えます。補助制度については、しっかりと検討させていただきます。